

# 利用ガイド



## 1 ポップコーンを作ろう



### 指示の伝え方

教室での英語活動を活発に行うために大切なことの一つに、先生が英語で指示をして、それを子どもたちが聞いて何が支持されているのかを想像する機会を増やすことがあります。英語の分からない子どもに英語で指示をするのですから、理解できないと思うかもしれませんが、指示の仕方や、言葉と一緒に提示するものがあったりすると、子どもたちは何が指示されているかしっかりと理解できます。何回か同じ指示を聞くことで、先生が言っている英語も無意識のうちに記憶に留めてしまいます。先生が英語で指示をして、その指示に子どもたちが反応するような活動を行うと、英語は理解可能な言葉だと子どもたちは感じます。英語を聞いて何かを理解できたと感じさせる活動が、英語を進んで聞こうとする態度を養います。そのような高学年向けの活動例として、「スーパーえいごリアン」の第1回目は、英語の指示を聞きながらポップコーンを作る活動です。おいしいポップコーンを作るには必要な材料と道具、そして手順を知る必要があります。サイモンが英語でどんな指示を出しているのか、よく聞いてみてください。そして子どもたちがその指示に対して、どんな作業をしているのかよく観察しながら視聴してください。教室での活動では、先生が指示したことに子どもたちが反応して、体を動かしたり、何かを作ったりする活動が望めます。もちろん番組の中で使われている英語の指示を先生が言って、みんなでおいしいポップコーンを作る活動もしてみてください。きっと新しい英語活動のスタイルが生まれることと思います。



### この表現が英語活動に使える！

- Let's make popcorn. : Let's~.で「~しよう」と相手を誘う表現。
- Listen to me carefully. : 話す内容を「注意深く聞くように」と促す表現。
- This is a frying pan. : This is~.で手元にあるものの名前などを説明する。
- Put the butter in the frying pan. : Put~in...で何かをどこかへ入れるように伝える指示。

## 指導上の参考



### 活動に向けての先生方の準備と練習

- (1)英語活動の中だけでなく、ほかの教科の活動中にも英語で指示を試みましょう。先生が英語を使うことに慣れるのと同時に、子どもたちも英語を聞くことに慣れます。どんな指示がされているのか、分からないときにはジェスチャーを付けて言うと、子どもたちは日本語での説明がなくても、指示をすぐに理解します。
- (2)活動中に使える表現を確認しましょう。

- Please sit down. : 「座りましょう」
- Please take your seat. : 「席に着きましょう」
- Stand up. : 「立ちましょう」
- Come here. : 「こちらへ来なさい」
- Be quiet! : 「静かにしなさい」
- Listen to me carefully. : 「よく聞きましょう」
- Look at me. : 「こちらを見ましょう」
- Raise your hand. : 「手を挙げましょう」
- Open your notebook. : 「ノートを開きましょう」

- Close your notebook. : 「ノートを閉じましょう」



### 活動例(1)「やってみよう」

上記の「活動中に使うことのできる表現例」を参考にし、先生が指示をして、児童が指示された動作をする。初めのうちはジェスチャーを交えて指示をし、何回か同じ指示をした後に次第にジェスチャーを加えずに。言葉だけで指示をする。簡単な指示から始め、徐々に指示の数を増やしていくと、子どもたちは指示をよく聞くようになる。



### 活動例(2) ゲーム“Simon Says”

【用意するもの】

活動例(1)の指示を子どもたちが理解したら“Simon Says”のゲームをする。このゲームはそれぞれの指示をする言葉の前に、Simon Saysという言葉がついている場合のみ、その指示に従って動き、Simon saysがない場合には指示に従ってはいけないゲーム。間違っ指示に従ってしまった場合と、Simon saysと指示されたにもかかわらず、動かなかった場合には、その子どもは「負け」になる。最後まで残った子どもが「勝ち」となる。テンポよく指示を出すことが肝心。

【先生が使う言葉の例】

Simon says, “Stand up.”

Simon says, “Raise your hands.”

Simon says, “Put your hands down.”

“Sit down.”



### 活動例(3)ゲーム “Put it in the box.”

【用意するもの】

- ・ 赤、青、緑の色紙を3～4cmの四角に切ったチップ(各グループに各色を約20枚)  
\* 色紙を台紙に貼ってから切ったものを使うと何度も使用できる。
- ・ 1L牛乳パックのそこから10cmぐらいのところ切り取ったものに、上記三色の色紙をはる。  
(各グループに各色の箱を1個ずつ)

【遊び方】

三色の色の言い方を確認した後、先生が指示した色のチップを指示された箱に入れる。はじめのうちは1枚ずつ行い、慣れてきたら枚数の指示もする。先生は指示する順序と枚数をメモしておき、最後に何色の箱に、何色のチップが何枚入っているか確認して、正しかったグループが「勝ち」となる。

【先生が使う言葉の例】

Put one green chip in the blue box.

Put three red chips in the green box.

Count the chips.

How many chips are there in the blues box?



### 活動例(4)「ポップコーンを作ろう」

実際にポップコーンを作る活動をする。

【用意するもの】(フライパン1杯分に対して)

- ・ ポップコーン(カップ半分)
- ・ バター(10g)
- ・ 塩(小さじ半分)
- ・ フライパンとふた

【ポップコーンを作る順序と基本表現】

Put butter in the frying pan.

Put salt in the frying pan.

Put corn in the frying pan.

Put the pan lid on the frying pan.

Turn on the gas range.  
Shake the frying pan.  
Listen to the sound.  
Turn off the gas range.  
Wait for one minute.  
Open the pan lid.



### 国際理解学習への発展

popcornという英語は調理されたポップコーンという意味と、ポップコーンの材料となるポップコーン種のトウモロコシという意味もあります。トウモロコシにはたくさんの種類があって、それを原料にしていろいろなものが作られています。メキシコではこのトウモロコシを主食にしている、タコスなどの料理がよく知られています。番組視聴後、メキシコの食べ物・文化などについて調べ学習をしましょう。ポップコーン用のトウモロコシは日本でも量販店などで手に入れることができます。